

2026年3月3日

再犯防止推進計画等検討会の開催に当たって（意見等）

全国社会福祉協議会会長 村木厚子

本日の検討会に出席することができず、誠に申し訳ありません。以下に、当方の、意見や質問などを簡単にまとめました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1 全体について

再犯防止推進計画に基づき、各省において施策の充実が図られていることに、心から敬意を表します。

一方、最近の犯罪件数の増加や、再犯率の上昇は本当に心配です。年齢や性別、犯罪の種類、要因等の分析をぜひ、よろしくお願いいたします。

それらは、単に再犯防止にとどまらず、誰もが生きやすい社会づくりのための幅広い分野の政策にとって重要な示唆になると思います。

2 地方での取り組みについて

地方再犯防止推進計画の策定が進んでいることを大変うれしく思っています。今後、策定自治体の数に加え、取り組みの内容の強化へと政策の重点が移っていくものと思います。計画の内容分析や、モデル事業の成果の分析などについて、この検討会はもとより、広く自治体間で情報共有できるようにしていただきたいと思います。

3 幅広い取り組みを

この分野に取り組み始めた当初は、多くの自治体、幅広い領域の専門家、一般住民、誰もが「再犯防止」は自分たちとは関係のない問題とっていました。しかし、最近は、少しずつですが、再犯防止はみんなの問題であること、自分の携わる分野でもできることがあることが分かってきたように思います。

そうした状況をさらに進めるため、この再犯防止にまつわることはできる限り幅広くとらえていただきたいし、その旨を周知していただきたいと思っております。

その意味で、この検討会でも、説明時間が限られるので各省のご発表に全部盛り込むことは無理だとしても、資料の提出は、各省ともぜひ幅広くお願いをしたいと思います。